

失語症リハビリテーション治療学演習

[演習] 第1・2学年 後期 選択 2単位

《担当者名》 若松千裕 wakamatsu@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

失語症にかかわる検査法、解析法、治療法を学ぶ。

【学修目標】

一般目標：失語症治療に関する高度な知識を学ぶ。

行動目標：

1. 失語症の障害メカニズムについて説明できる。
2. 臨床症例で失語症の解析法を列挙できる。
3. 失語症の治療法について説明できる。
4. 失語症の治療研究を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～15	失語症の理論と治療	失語症の症状に応じた評価法を学び、障害メカニズムの分析方法を学ぶ。 障害メカニズムに対応した訓練プログラムの立案、治療法について学ぶ	若松千裕

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート50%、平常点50%

【教科書】

指定しない

【学修の準備】

1. 失語症の基礎知識について文献を読む。（80分）
2. 講義の内容に関して、復習する。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

リハビリテーション領域における高度な知識および技術を修得し、対象者が抱える諸問題に対して、科学的根拠に基づいた質の高い臨床実践を展開できる問題解決能力を身につけているというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

若松千裕（言語聴覚士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床経験に基づく講義を行う。